

乳幼児を社会科学的に分析する ：発達保育実践政策学の深化

本企画は日本学術会議第22期マスタープラン教育学分野の「学術の展望」に基づき提出した大型重点研究計画「乳児発達保育実践政策学研究教育推進拠点の形成」に基づく提案です。近年、社会科学において研究の進展が著しい、乳幼児に関する大規模データを用いた分析の知見をご紹介し、さまざまな研究分野の専門家で議論を深めます。



平成29年10月22日(日)

13時(開場12時30分)～17時

日本学術会議講堂

開会の挨拶 大桃 敏行 (日本学術会議連携会員・学習院女子大学国際文化交流学部教授)

企画趣旨説明 村上 祐介 (日本学術会議連携会員・東京大学大学院教育学研究科准教授)

話題提供 13:15～15:15 ※報告タイトルは変更することがあります

司会：村上 祐介 (前掲)

山口 慎太郎 (東京大学大学院経済学研究科准教授)

「保育園通いは子供の発達にどんな影響？大規模調査からのエビデンス」

赤林 英夫 (慶應義塾大学経済学部教授・同こどもの機会均等センターセンター長)

「日本の幼児教育の収益率の推計(仮)」

野口 晴子 (日本学術会議連携会員・早稲田大学政治経済学術院教授)

「低体重出生一原因と帰結一」

指定討論 15:30～16:50

大沢 真理 (日本学術会議連携会員・東京大学社会科学研究所教授)

遠藤 利彦 (日本学術会議会員・東京大学大学院教育学研究科教授)、村上 祐介 (前掲)

閉会の挨拶 遠藤 利彦 (前掲)

※総合司会：野澤 祥子 (東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授)



東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

(後援)
【申請中・順不同】

日本発達心理学会 教育関連学会連絡協議会
日本赤ちゃん学会

➤ お申し込み・お問い合わせ：発達保育実践政策学センター (Cedep)
申込専用ウェブフォームをご利用ください。
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>



先着
280名
事前
申込制

➤ アクセス：日本学術会議 〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、5番出口(青山霊園方面)より徒歩1分